

Redcord



スタビリティ研究会 主催 医療系コース

【京都開催】

レッドコードを徹底的に使い、変化を継続できる運動療法を研修

第2回 **メディカル アドバンス コース**

【腰部下肢編】

腰痛により臍引き課題でDefault Mode Networkの非活性が減少したりTMSの腹横筋誘発マップが拡大したりと脳内ネットワークが変化することがわかってきています。痛みを最小限にした運動からスモールステップで負荷を漸増させる運動制御を学習させる必要があります。

股関節は骨盤大腿リズムを理解した評価と運動療法が望まれます。変形性股関節症の進行やFAIの発生メカニズムを理解し、股関節機能を見える化し保存療法や術後療法を構築する必要があります。

下肢機能改善では近年の運動療法をwith Redcordで効果的に行う方法を研修いただきます。

メディカル ベーシック コースで研修したレッドコードのコンセプトと特徴を生かし、腰部骨盤帯と股関節の臨床実践を研修いただきます。レッドコード活用の幅を広げる内容です。

対象：解剖神経学、運動学の知識のある方（原則の国家資格保持者）
メディカル ベーシック コース、または旧ベーシックコースの受講歴のある方。
※申込みには、スタビリティ研究会の上記コース修了証の右下に記載の番号が必要です。

講師：レッドコード国際インストラクター Certified Neurac Practitioner 山本 泰三

設備：レッドコード2台以上のワークステーションを使用

1. 腰痛による脳内ネットワークの変化
2. 腰痛、尿失禁、姿勢不良の予防改善を継続させる評価とポイント
3. 姿勢別、腹横筋・骨盤底筋の選択的収縮から腰部スタビリティ漸増負荷の方法
4. クラインフォーゲルバッハのコアトレーニング
5. 骨盤大腿リズムの理解と可動性評価と運動療法、OKC&CKC ASAP
6. 変形性股関節症の進行抑制には胸腰部の可動性、歩行能力向上にはTLA
7. トレンデレンブルグ徴候にはRFD能力と腰部スタビリティ
8. 脚長差、FAI改善の下肢機能改善トレーニング

日時 2024年10月13日(日) 受付 8:45 研修 9:00~17:00

2024年10月14日(月祝日) 受付 8:45 研修 9:00~16:00

会場 宇治徳洲会病院 8階 リハビリテーション室

参加費 38,500円（資料代・修了証・消費税を含む）セット申込みの割引あり。

修了証 スタビリティ研究会より発行します。

申込み スタビリティ研究会のHPよりお願いします。

